【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和4年12月23日(2022.12.23)

【国際公開番号】WO2022/158568
【出願番号】特願2022-548251(P2022-548251)
【国際特許分類】
C09D 4/00(2006.01)
C09D 7/61(2018.01)
【FI】
C09D 4/00
C09D 7/61

【手続補正書】
【提出日】令和4年8月8日(2022.8.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
チタン含有酸化物およびその前駆体の少なくとも一方と、アダマンタン誘導体と、アルコキシ基および（メタ）アクリレート基を有する有機バインダーと、を含む膜形成用の塗布液。
【請求項２】
前記チタン含有酸化物が固形分中に５０～７５重量％含まれ、
前記アダマンタン誘導体が固形分中に１０～３５重量％含まれ、
前記有機バインダーが固形分中に１０～２５重量％含まれることを特徴とする請求項１に記載の塗布液。
【請求項３】
前記有機バインダーの少なくとも一部がオリゴマーを形成していることを特徴とする請求項１に記載の塗布液。
【請求項４】
前記アダマンタン誘導体が分子内に２個以上の（メタ）アクリレート基を有することを特徴とする請求項１に記載の塗布液。
【請求項５】
前記アダマンタン誘導体が（メタ）アクリレート基以外の置換基を有さないことを特徴とする請求項４に記載の塗布液。
【請求項６】
前記アダマンタン誘導体の分子量が３５０以下であることを特徴とする請求項４に記載の塗布液。
【請求項７】
チタン含有酸化物およびその前駆体の少なくとも一方を含む分散液を準備する準備工程と、
前記分散液と、アルコキシ基および（メタ）アクリレート基を有する有機バインダーとを混合し、混合物を調製する混合工程と、
前記混合物にアダマンタン誘導体を添加する添加工程と、を備えることを特徴とする膜形成用の塗布液の製造方法。
【請求項８】

前記混合工程で前記有機バインダーを前記チタン含有酸化物１００質量部に対して１０～４０質量部混合し、

前記添加工程で前記アダマンタン誘導体を前記チタン含有酸化物１００質量部に対して１５～８０質量部添加することを特徴とする請求項７に記載の塗布液の製造方法。

【請求項９】

請求項１に記載の塗布液を基材上に塗布し、膜を形成することを特徴とする膜付基材の製造方法。